

化学物質安全データシート

製造者情報 会社名 ダイアプラスフィルム株式会社
住所 愛知県名古屋市中村区岩塚町大池2
担当部門 管理部 品質保証グループ（養老工場）
電話番号 (0584)32-3577 : F A X(0584)34-3641
緊急連絡先 同上
電話番号 同上

作成・改定 平成26年 4月 1日

製品名(化学名・商品名等)

DR溶着剤

組成及び成分情報 単位物質・混合物の区別 : 混合物製品
成分および含有量 :

化学物質名	含有量(%)	化学式又は構造式	化審法	安衛法	CAS No.
テトラヒドロフラン	90~95	C ₄ H ₈ O	5-53	5-53	109-99-9
メチルエチルケトン	5~10	C ₄ H ₈ O	2-542	2-542	78-93-3

国連分類 : クラス3 (引火性液体)

国連番号 : 1263

危険有害性の要約 分類の名称: 急性毒性物質

危険性 : 特別な危険性は報告されていない。

有害性 : 有機溶剤中毒を起こす恐れがある。

環境影響 : 環境への影響は報告されていない。

応急処置

目に入った場合 : 直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。

出来るだけ速く医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 付着物を布で素早く拭き取る。

大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しない。

外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受ける。

吸入した場合 : 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受ける。

蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 嘔吐物は飲み込ませない。

直ちに水を飲ませて嘔吐させ、医師の診断を受ける。

火災時の措置

消火方法 : 適切な保護具を着用する。

火災を増大させる危険性があるものを周囲から、速やかに取り除く。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動は風上から行い、周囲の状況に応じて適切な消火器を使用する。

消火剤 : 水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

漏出時の措置

作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。

漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは、関係法規にもとずいて処置をする。

河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

取り扱い及び保管上の注意

取扱い : 換気の良い場所で取り扱う。

容器はその都度密栓する。

密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業する。

保管 : 日光の直射を避ける。

通風のよいところに保管する。

暴露防止及び保護措置

化学名又は一般名	テトラヒドロフラン	メチルエチルケトン
管理濃度(労働安全衛生法)	200ppm	200ppm
許容濃度 ACGIH (TWA)	200ppm 590mg/m ³	200ppm 590mg/m ³

設備対策 : 屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とする。

タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。

保護具	：保護眼鏡	取扱いには保護メガネを着用する。
	保護手袋	取り扱う場合には、皮膚を直接暴露させないような衣類を付けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。有機溶剤又は化学品が浸透しない材質の手袋を着用する。
	呼吸用保護具	適切なマスクを使用する。
	保護衣	状況に応じ、前掛け、長靴等。

物理及び化学的性質	外観等	：無色透明液体
	比重	：0.8815(20℃)
	融点	：
	初留点	：
	沸点	：66.0℃以上
	蒸気圧	：
	蒸気密度	：
	溶解度	：水に可溶。

安定性及び反応性	引火点	：-17.2℃以上
	可燃性	：強い可燃性がある。
	発火性	：知見なし。
	酸化性	：知見なし。
	自己反応性・爆発性	：知見なし。
	粉じん爆発性	：知見なし。
	安定性・反応性	：通常の取扱い条件においては安定。

有害性情報

皮膚腐食性	：知見なし。
刺激性（皮膚、眼）	：知見なし。
感作性	：知見なし。
急性毒性	：知見なし。

[テトラヒドロフラン]

LD50	検体：r a t
	経口：2816mg/kg
LC50	検体：r a t
	吸入：63000ppm

[メチルエチルケトン]

LD50	検体：r a t
	経口：2737mg/kg

LD50 検体：r b
吸入：6480mg/kg

LC50 検体：
吸入：188000mg/m³

亜急性毒性 : 知見なし。
慢性毒性 : 知見なし。
がん原性 : 知見なし。
変異原性 : 知見なし。
生殖毒性 : 知見なし。
催奇形性 : 知見なし。
その他 : 特別な有害性は報告されていない。

環境影響情報

環境影響情報 : 漏洩時、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱に注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

分解性 : 知見なし。

蓄積性 : 知見なし。

魚毒性 : 知見なし。

廃棄上の注意 廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

輸送上の注意 共通事項： 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従う。
海上輸送： 船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送： 航空法に定めるところに従う。

適用法令

消防法 第2条危険物第4類第一石油類水溶性液体（400L）
労安法 有機溶剤中毒予防規則 第2種
危規則 第3条告示別表第5引火性液体類 H-上・下/上 等級2
航空法 施行規則第194条告示別表第3引火性液体 G-等級2

港法則 施行規則第12条危険物告示引火性液体類
PRTR法 非該当

その他の情報

コメント : 危険・有害性の評価は現時点で入手出来る資料・データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであり、特別な取扱いをする場合には用途・用法および状況に適した安全対策を実施のうえ、取扱いには十分に注意願います。

すべての化学製品には未知の危険性・有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。